

平成29年2月 日

各 位

ご案内

水産関係者との意見交換会

スルメイカ秋季発生系群の資源状態と漁況予報をめぐって

向春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、我が国周辺水域資源調査・評価等推進事業に対しまして、温かいご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年度も水産研究・教育機構および都道府県の関係試験研究機関等と共に水産庁から標記事業を受託いたしました。

また、今年度より標記事業におきまして、漁業現場の関係者（漁業者および流通加工業者等）の皆様との意見交換会を開催することとなり、その事務局を務めることとなりました。この意見交換会の目的は、①漁況等の現状に関する調査や解析結果をわかりやすくご説明し、現場でどのような予報が必要かの検討並びに、②資源評価や漁海況予報担当者と漁業現場の関係者が意見交換及び情報共有を行うことにより漁業現場を正確に把握することです。

このほど、別紙1～2の通り石川県鳳珠郡能登町字小木におきまして、水産関係者との意見交換会を企画しましたので、ご案内申し上げます。

一般社団法人 漁業情報サービスセンター
(水産関係者との意見交換会 事務局)

(別紙 1)

■開催趣旨

スルメイカ秋季発生系群は主に東シナ海北部から日本海に分布し、春季から夏季にかけて北上し、その後産卵のために南下する重要資源である。近年、スルメイカ資源は減少傾向にあり、冬季発生系群とともに秋季発生系群の資源状態や漁獲動向は漁業者のみならず全国のいか類加工流通産業にとっても関心の高い課題である。そのため、当系群の漁況については水産研究・教育機構が関係道県等と連携して、長期予報を毎年行っている。ここでは、昨年12月1日に開催されたスルメイカ秋季発生系群の資源評価会議の結果に加え、今漁期の経過を整理し、4月と7月に公表した日本海スルメイカの長期漁況予報を検証するとともに、石川県水産総合センターによる注目される研究成果の紹介及び今年度から開始されたいか釣り漁船に搭載した中層水温測定結果とその活用についてわかりやすく説明する。これらについて、水産関係者の皆様と意見交換することにより、本系群に関する資源評価や漁海況予報の改善に資することとしたい。

■プログラム (別紙 2)

■意見交換会は参加無料ですが、事前申し込みを下記申込書にてお願いします。

■参加申し込み先 1 (石川県内の漁業関係者)

石川県漁業協同組合 小木支所 (担当：山若) 宛

FAX：0768-74-1146 電話：0768-74-1144

E-mail：og-yamawaka@ikogi.jf-net.ne.jp

■参加申し込み先 2 (上記以外)

漁業情報サービスセンター (谷津) 宛

FAX：03-5547-6881 電話：03-5547-6886

E-mail：sanka@jafic.or.jp

■参加申込書

プログラムをご覧の上、下記申込書にて、3月10日(金)正午までに上記申込先にファックスまたはe-mailでお送りください。なお、参加申込書のワード文書は漁業情報サービスセンターのホームページ (<http://www.jafic.or.jp/>) に掲示します。

(別紙2) 水産関係者との意見交換会

スルメイカ秋季発生系群の資源状態と漁況予報をめぐって (案 170215)

共催：(研)水産研究・教育機構 日本海区水産研究所・石川県水産総合センター・
(一社)漁業情報サービスセンター
後援：石川県漁業協同組合・(一社)全国いか釣り漁業協会

日時：2017年3月17日(金) 13:30~16:40

場所：石川県漁業協同組合 小木支所 3階会議室(〒927-0553 鳳珠郡能登町字小木 34-11、
電話：0768-74-1144)

プログラム

注：講演時間には当該講演に関する質疑と意見交換(5分程度)を含みます。

共催者挨拶：漁業情報サービスセンター 川口恭一会長 13:30~13:40
来賓挨拶：石川県漁業協同組合小木支所 山下久弥支所運営委員長 13:40~13:50

趣旨説明とスルメイカの生態と水温の関係(資源変動と漁況予報の視点から)
谷津明彦(漁業情報サービスセンター) 13:50~14:10

●話題提供・意見交換

1. スルメイカ秋季発生系群の資源評価
宮原寿恵(水産研究・教育機構 日本海区水産研究所) 14:10~14:35
2. スルメイカ秋季発生系群の漁海況の経過と長期予報の検証
久保田洋(水産研究・教育機構 日本海区水産研究所) 14:35~15:00
(休憩 10分)
3. 日本海沖合におけるスルメイカ漁場の予測と検証
四方崇文(石川県水産総合センター) 15:10~15:35
4. いか釣り漁船に搭載した中層水温計システムの特徴と成果の活用(漁船活用型事業)(仮題)
中園博雄(漁業情報サービスセンター) 15:35~15:55
5. いか釣り漁船に搭載した中層水温計で得たデータの特徴と活用(仮題)
久保田洋(日本海区水産研究所) 15:55~16:15

●全体意見交換

司会：谷津明彦(漁業情報サービスセンター) 16:15~16:40

意見交換会（小木） 参加申込書

あて先：（いずれかに○をしてください）：

石川県漁業協同組合 小木支所（担当：山若）宛（石川県内の漁業関係者）

または

漁業情報サービスセンター（担当：谷津）宛（上記以外）

送信日： _____ 月 _____ 日

送信者： _____

代表者： _____

連絡先：〒 _____

電話： _____

FAX： _____

メールアドレス： _____ @ _____

氏 名	所 属（社名・団体名）

その他連絡事項（あれば）